

ヨタ陰陽師が
性悪ロリ妖狐の
ガチ恋奴隷になり
全てを失う話

うらあか18

ここは、某所山奥にあるとある村
神の加護を受けた巫女の統べるこの村には
多くの陰陽師が住んでおり

この地域一帯を邪気、妖の類から
守護する役目を担っていた

しかしここ数年…

とある妖怪を退治しに向いた
陰陽師が帰らぬ事態が相次いでいる

ブゴゴ
ブゴゴ

…申し訳ありません

おまかせ下さい巫女様！

村に居た若い者は何名も
討伐に向いてから帰らず
今該当するのは貴方だけなのです…。

若い少年を向かわせるのは
無茶だと思いましたが
あの妖狐が住み着いている根城には
二度に通れるのは若い男女二人のみ
という結果が貼られております

キッ

帰らぬものの中には
兄や幼馴染の清姉もおりますゆえ
是非とも私に行かせて下さい！

…貴方は若いとはいえ
村一番の素質の持ち主

大丈夫だとは思いますが
油断は禁物です
貴方の兄や清も優秀な
術師だったのですから

なに、兄や清姉であれば
命を落としているという事はないでしょう
万が一の時には報せを送るための
御守りも常に持ち歩いておりました

その報せが無いという事は
命は無事でしょうし
最悪の場合としても不意をつかれ
封印の類にかかっている
程度の事だと思われれます

私も自らの力量は弁えておりまので
兄らの解放を最優先し
後は兄らに任せるつもりです
ご安心下さい、巫女様

…妖狐の呪いなのか
私の結界も弱まり
多くの犠牲者が出ています

このままでは村は
滅んでしまうでしょう
どうかお願いします
この村に平穏を取り戻して下さい

では…この御守りを…!!
高貴な神の力を込めた物です
必ずや貴方を良い道に導く事でしょう

…必ず、無事に
帰ってきて下さい

はい!



よく眠れたか？
子供がこんな所に居てはいかんぞ♥

この辺りは凶暴な獣が多いからのお
食われてしまったは大変じゃ

昼になったら
里へ帰るが良い

こ、この
容姿…！

お、お前がここに
住み着いているという妖狐か…？

子供…？
こんな弱そうなのが
村を苦しめていたのか

ん？
妾が人間でない事くらい
見ればわかるであろう？

それよりもまず感謝せよ♥
道に迷い倒れていたお前をここへ
連れてきてやったのは妾じゃぞ？



くくく
そんな事わかっておるわ

くくす

じゃがお前のような子供を刈り取ってしまうほど
妾は残酷ではない
知らぬフリをして見逃して
やろうとしているのに哀れなものじゃな…



う、動くな！
私はお前を退治してきた陰陽師だ！
あの眠術もお前の仕業の癖に白々しい！

くくそ…
先に兄達を解放しなかったが
こうなつては…



悪滅妖退…封邪…！

ブゴゴゴゴ



な、なんだと！
私を子供扱いするな！
後悔させてやる！





はあっ!!

ジュルッ♡

あっ...!!
またっ...!!

なっ...!
なんで!

なんで
出ないんだよ!?



くくくく...♡
敵の前でビュッビュッビュッ
なんどもぶちまけおつて...♡
中々良い趣味をしておるが...

...ふふっ♡
流石に人として
恥ずかしくはないのか?



くそっ...
くそおおおおっ!!

出ろっ!
出てくれっ!
ふっ♡
ふふっ♡



むり・じゃ♡
もう二度と
戻る事はない♡

そ、そんな...!
も...戻せ...!



くそっ...!!
な、なにをしたんだっ!
私の身体にっ!!

なにつて...
力の流れを改造しただけじゃ♡
全て股間に集まるように...♡
放たれれば精液として溢れ出るようにな...♡



くくそおおっ!!
お、お前如き
術が使えなくても...!!

おやおや...♡
弱い上に頭まで
悪いんじゃのう♡

うおおおおおおっ!!

ちゅっ♡
ビュッ

ちゅっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡

許して下さいっ♡
ごめんなさい♡

バカ丸出しじゃのお♡
このざあー♡

勝てるわけもない
相手に全裸で挑んで♡
精液を吐き捨てながら
お漏らし謝罪とは♡

ボコられてる最中も
ピュッピュッピュッ
射精しおって♡
それがお前の
生殖行動なのか♡

床を孕ませる
つもりかこの変態♡

ふっ♡
ふっ♡
ふっ♡

ふっ♡
ふっ♡
ふっ♡

は…はい♡
申し訳ありま
せんでしたっ♡
ごめんなさい♡

は、はいっ…

従順にしておれば
寵愛を与えて
やるから安心せえ♡

…まあ、よい♡
わかれば良いのじゃ♡
こうなった以上
お前はもう逃さんが
妾は可愛いオスが
好きじゃからのお…♡

ゴシゴシ

ゴシ

くくそっ…

この状態じゃ
なにをしても勝てない…!!
降参したフリをして
油断させたスキに…
なんとか兄達を見つけて
逃げ出すしかないっ!!

まずその大人ぶった
一人称を矯正じゃな

ガキらしく僕と言え
格好つけて
大人ぶりおって♡

はい…
気をつけます…

こうして私…
僕は妖狐に飼われる事になった

どんな扱いになるかと内心恐れては居たが
寵愛を与えるとの言葉どおり
彼女は僕を徹底的に甘やかしか可愛かった

快楽を餌にすればどんな
命令にでも従う性玩具として…

よしよし…♡
お前は素直でかわいい子じゃのう♡

…では新しい芸を仕込んでやろう♡

芸…?

…愛の告白じゃ♡
妾に対して告白をするという芸じゃよ♡

ふむ…そうじゃな。
お前の年頃であれば大人の恋愛
という感じでもないじゃろうし
「大好きです御主人様、付き合ってください。」
と可愛く告白するのじゃ♡
告白するタイミングは…

へ

へ

こゝ告白だど…?

はい…

そんな事で心が動くとしても
思っているのか…この獣め…!!
大体そんなもの無理やり
言わせて何が嬉しいんだ…!!

甘い寵愛生活の中で
彼女が仕込んだのは
「告白する」という芸…

これは彼女がじっと目を見つめるか
「告白しろ」と言うか彼女に告白するという
単純な物…
もちろん命令に従っているだけで
本心はまったくの別物…

…なのだが嘘であったとしても
声に出して宣言し続けると次第に
それが本心のように思えてくる…!!
いつのまにか心臓の鼓動が早くなり
頭がぼーっとするようになってしまい
これが自己洗脳だと気づいた時には…

大好きです♥御主人様あ♥
付き合ってください♥
なんでもしますからあ♥

僕は彼女の虜に
なってしまうていた…♥

いつのまにか嘘と本心の
区別がつかなくなり
無様に告白しながら媚を売り
彼女の愛を欲しがり続ける…
卑しいガチ恋奴隷に…♥

褒美じゃ♥

上から下に…♥
好きな人の唾液を
流し込まれる至福の時間…♥

上手に告白が出来る
と彼女が濃密な褒美をくれる…♥

うむうむ、上手に
告白できたのお♥
妾に惚れ込んでおるのが
よく伝わってくるぞ♥

■妖狐の唾液
催淫剤であり人間が接種すると身体が激しく火照る
心臓の鼓動が激しくなり
恋愛感情と錯覚するため惚れ薬としても使える

返事は貰えず一方的に
させられるだけの滑稽な告白…♥

妾から返事を貰える
ように頑張るんじゃぞ♥

はい…♥

頑張ります…♥

当然、最初は
屈辱的に感じていたが
今ではすっかり
ご褒美にしか感じなくなっていた

御主人様の唾液…♡
生きてて良かった…♡

チョロい生き物じやのお…♡

んー♡

ママ♡
ママ♡
ママあ♡

ちゅちゅ

こちら、妾は
お前のママではないぞ♡
浅ましく吸い付きおって、
この変態が♡

んー♡やだあ♡
ママのおっぱい欲しい…♡

■妖狐の淫乳
人間のオスが接種すれば精液の生成量が爆発的に上昇する。
濃厚で優しい甘さのため一度吸い出すと離れられない。
人間の知能を下げる効果もある。

トムッ

どこまでも深い愛情におぼれているとハア
まるで自分が赤子になったような気分になり
自然とそれに相応しい言葉が溢れ出る♡

そろそろじゃな…♡

気分次第では授乳プレイをして
貰える事もあった♡
愛しい人の乳首にむしゃぶりつき
その母乳を体内に流し込む…

んんっ♡

上手に吸えたご褒美じゃ、
盛大にぶちまけるがいい♡

…♡
ジクッ



ニャー♡

ニャー♡

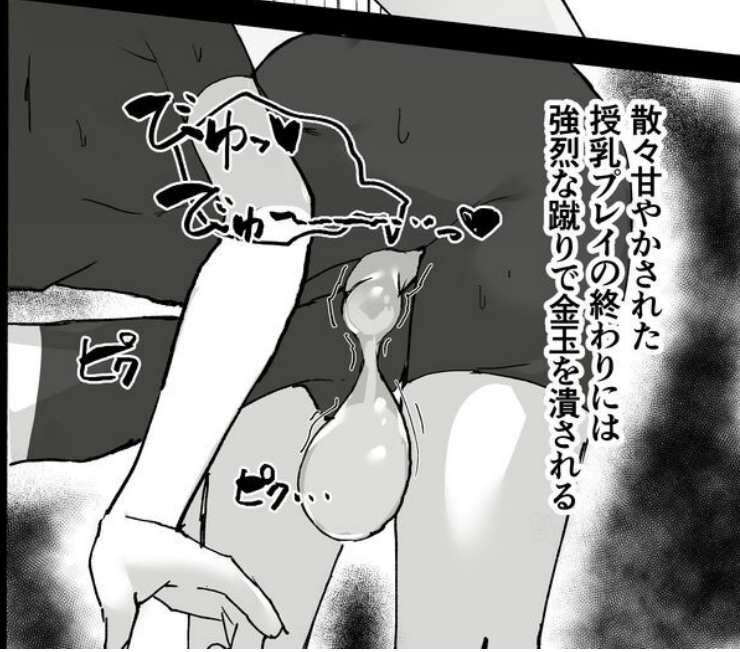
ニャー♡



最初は足で撫でる程度の刺激を与えられ
射精の瞬間に蹴りを
入れられるモノであったが

痛みと快楽を同時に
刷り込まれ続けるうちに
痛みと快楽の区別がつかなくなり

今では強烈な蹴りを合図に
射精する身体にされてしまった♡



散々甘やかされた
授乳プレイの終わりには
強烈な蹴りで金玉を潰される

びゅー♡
びゅー♡

ピク

ピク...

股間には特殊なコンドームが
常に装着されており
これが満タンになった時
僕の調教が終わるらしい

ふむ、結構溜まってきたのお
毎日何度も吐き捨ておって
このエロ猿が♡

申し訳
ありませんっ♡

たふっ

極上の柔尻に顔を埋め
視覚と嗅覚の全てを彼女に委ねる

んっ♡
んんっ♡

なんじゃ、息苦しかったのか♡

もっとしつかり
舐めんとわからんのお♡

敵であった存在の尻に顔をうずめ
スパッツ越しの肛門に生殺与奪権を握られる

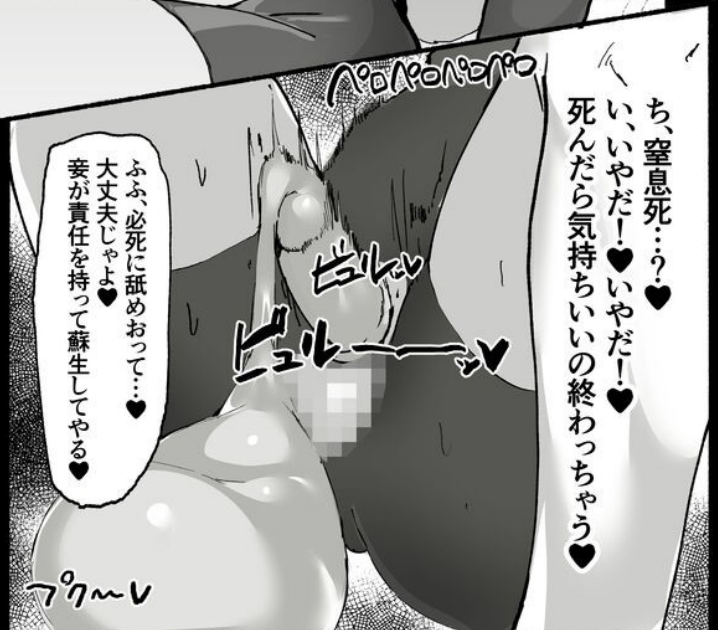
むあぁ♡

自分が人間ですらなくもっと下の存在
チンポだけの下等生物になったような倒錯感…♡

驕と称して色々な性癖を仕込まれたが
僕の一番好きなプレイはコレだった…♡

…ん♡





ほれ、呼吸禁止じゃ♡
女の尻に潰されて逝け♡

ムギョッ

んぎっ♡

フッ

んぐぐぐっ♡

フッ

ぶぐっ♡

ビクッ

んびっ♡

ビクビクッ

♡

…自分の全てがお尻に潰される♡
柔尻に飲み込まれて…♡
すり潰されていく…♡

息も出来ないうし…何も見えないうし…♡

ムワッ♡

脳全体がおまんこと
肛門の匂いに浸かって
溺れ死ぬ…♡

こんななに気持ち良い事が
あつていいのな…♡

愚かな生き物
じゃのお…♡

こんな快楽を知れば
二度と後戻り
出来なと言っのな…♡

ぐおっ♡

トビュッ♡

ゼクッ

ふんふん♡

ビクビク♡



.....

ガバッ

はっ...♡

...生き返ったか

どうじゃ？
尻でマジ逝きした気持ちは？

女の...それも仇であったはずの
妖狐の尻で窒息死...♡
最低の死に方であったと
思うが、どうであった？♡



御主人様が...いや...
この方が異常に
尊く見える...♡



はっ...はっ...♡

な、なんだ...
この感覚...♡



ガクガク



あ...



いいや...！
きつとそうだ...！♡
僕はこの方のために存在しているんだっ♡



ぼ、僕はこの方に弄ばれるために
産まれてきたのかもしれない...♡

ありがとうございますっ！
妖狐様のおかげで
生まれ変わる事ができました…♡

…うむ

全てを懸けてご奉仕させて頂きますので
これからご寵愛をお与え下さいっ！♡

はいっ♡

自然と溢れ出る感謝と隷属の言葉…♡
愚かな人間と高貴な妖狐様との間にある
種族としての価値の違い…♡

僕は全てに気付いてしまった…♡
人間とはそもそも妖狐様に奉仕し
使い潰されるための存在だったのだ…♡

ようやく正しい自分に
目覚めたようじゃな
妾の愛を受け入れ
てくれて嬉しいぞ

褒美じゃ♡

ああああっ♡
ありがとうございます♡
ありがとうございます♡

うむうむ♡
今日は多めに踏みにじってやろう♡

この日からはただの添い寝にも
今までにない陶酔感を感じるようになった

この世の愛全てに包まれているような
全身に染み込むあらゆる
性感帯を愛撫され続けるような心地よさ…♡

ギュ

グッ グリッ♡

密着して深呼吸するたびに
精液は溢れ出し、起きる頃には
コンドームがパンパンになっていた♡

■妖狐のフェロモン
人間に安心感と依存心を持たせる効果がある
吸い続けると精神性が退化し
再教育に適した状態になる

自主的に土下座とは
お前も成長したのお

おはようございます…♡
今日も一日
感謝させて頂きます…♡

ほれ、褒美じゃ

あぁっ♡
ありがとうございます♡

こうして…すっかり妖狐様に心酔し
眷属としての自覚が仕上がったある日…

うむ♡

そろそろ良さそうじゃな♡
十分な量が搾取できておる♡

ゴイツはこれで満タンじゃ♡

という事はお前の調教も
仕上がったと言う事…

今までご苦労であったな♡

えっ…？
もう終わりなのですか…？

もっと妖狐様の眷属として
深くご調教頂けるものかと…



残念がるでない♥

これ以上の調教をせずとも

既にお前は妾の眷属として生れ変わったではないか
その褒美として今日は「返事」を与えてやる♥

お前の素直な心を…♥

本心からの思いを
妾に聞かせてくれるか?♥

えっ…??



あっ…!!

は、はいっ…♥

トキッ

…と告白にお返事…♥

もしかして
僕と恋人に…♥



いいや!
恐れ多いぞっ…!!

…これから眷属として
尻に敷いていただければそれで…♥

でもっ…♥

こんなに優しい笑顔で僕の事を
見てくれると言う事は
妖狐様も僕の事を…



好き…♥
好きだ…♥

愛して欲しい…♥

触って欲しい…♥

もっと匂いを嗅ぎたい…♥

ご奉仕したい…♥

舐めたい…♥

顔を埋めたい…♥

尽くしたいっ…♥





完全にめちゃ扱いだっただんだ…♡
一番高い所から
突き落として楽しむために…♡
恋心と依存心をこれ以上
ないくらい膨れ上がらせて…♡

…弄ばれてるっ♡



しかし最高じゃのお♡
本気の告白を踏みにするのはあ♡
お前を寵愛し勘違い
させきった甲斐があったわ♡

あ、ああああっ♡



悔しくて悲しくて惨めで…♡
胸が痛くて頭が
おかしくなりそうなのに…

勃起が収まりませんっ♡

さ、最高ですっ…♡



お、そういえばお前は
これが初恋じゃったらしいな？♡
聞かせてくれんかのう♡
初恋の相手にゴミ扱い
される気分はどうじゃ？♡

…っ♡



その日から一転
妖狐様は一切の寵愛を与えてくれなくなり
僕の事をモノ同然の最低奴隷として扱うようになった



気っ持ち悪いのお♡

このストーカー！♡
変態！♡
下等生物！♡

お前はオス失格じゃ♡
去勢した方がええかもしれんのお♡

あっ♡ああああ♡





以前のような寵愛は一切なくなったが
上手くご機嫌を取れば
舐めやアナル舐めを許され...



…この汚れ、
どう責任を取るんじや？

妻の清らかな体が
汚物で汚れておるではないか

ドロオ…

申し訳ございません…♡

精液を踏みにじり
皆殺しにして頂いた上で
足裏を舐めるといふご褒美…♡

ペロ

ペロペロ…

ブピュ♡

…なあくに追加で
ぶちまけとるんじや

それも舐めとけよ

ドピュ♡

はい…♡

男どころか生物として
最低の快楽

脳や心の大事な部分が
取り返しつかない形で
壊れていくのを感じたが
僕にとつてそんな事は
どうでも良かった

カチャ

ん、茶を置く
場所がないのお



あしたの朝に...♡

うむ
しばらくそのまま
勃起させておけ

はい...♡

僕が存在するのは彼女に利用されるためであり
同じ空間に存在するだけでこの上ないご褒美♡

使っていただけない僕に
生きる価値など無いのだから...♡

トロ〜

...少し出かけてくる
戻るまで動くな

...♡

はい...♡
ごめつくり♡

バク

シュ〜♡

ビュ♡

そして…

ふむ…

お前は十分に
仕上がったの

発言を許す

えっ…♡

は、はいっ♡
ありがとうございます♡

や、やった…♡

今日は会話して
頂ける…♡

ここに来たばかりの時は
出来ない下等生物でしか無かったが
今はもう完璧な眷属

…奴隷として
仕上がっておる

もちろんですっ…♡
全て妖狐様の
お導きのお陰です♡

下等生物の僕でも
こうして反省し
正しい姿に生まれ変わる
事ができました…♡

うむうむ、
その通りじゃ

はいっ♡
ハア

よかろう

それで…
じゃ

ここらでお前と
「魂の契約」をしようと思
うのじゃがどうじゃ？

魂の契約…？

勿論従いますが…
一体どのようなモノなのか
お教え頂けませんか？

魂の契約
とは…

お気の向くように使い潰して
頂いて構いません…♡

まよからう

■魂の契約
完全に屈服した状態で陰部を差し出し
所有者の妖力を注入
その後、陰部から魂を排泄する禁術

契約をした魂は快樂地獄に墜ち
永遠に悶え媚び続ける事となる

対象者の魂は全て所有者に献上されるため
許可なくしては手足を動かす事は愚か
呼吸すらも出来ない究極の奴隷契約

また、所有者の意思次第で形さえも変えられるため
無機物のような本物の“モノ”となる事も可能

…そ、そんな事が可能とは
流石です妖狐様…♡
是非ともお願いします♡







この声…兄上…!!

そう、この梁型は
お主の兄だった者じゃ…♡



あんっ♡
あああんっ♡

ありがとう
ございます♡

御主人様♡
御主人様♡

ビクッ

ビクッ♡

ビクニっ♡

ありがとう
ございます♡

上がり下さい♡

献上させて頂くための精液♡
ドロッドロに煮詰めておりました♡

どうぞお召し
上がり下さい♡



ま、妾の許可を得ず粗相をし
精液を床に吐き捨てた罰として
こやつは拷問箱に封印じゃな

拷問箱は最低の苦痛を与え続ける装置…
極上の精が取れる代わり人格の方は…な♡



中々の手練ではあったが所詮は人間…。
お前と同じく妾の威光に屈服した末に
精を献上するだけのモノになったのじゃ

今日で熟成一ヶ月といった所かのお



熟成させ苦しめれば苦しめるほど
旨みが増すのじゃから
元々こうするべきではあるがのお…♡

ドロォッ…



ああ、あったあった



そそんな…

わかつてはいたけど…
ま、まさか兄上まで…

…で、
次が…

ガクガク…



これが清姉とかいう、
お前が姉のように慕っていた
女だったモノじゃ♥

えっ…

そう、お前に装着させてた
特性コンドームじゃ♥
頭の悪いアバズレにはお似合いの…
女として最低の姿じゃろう？♥



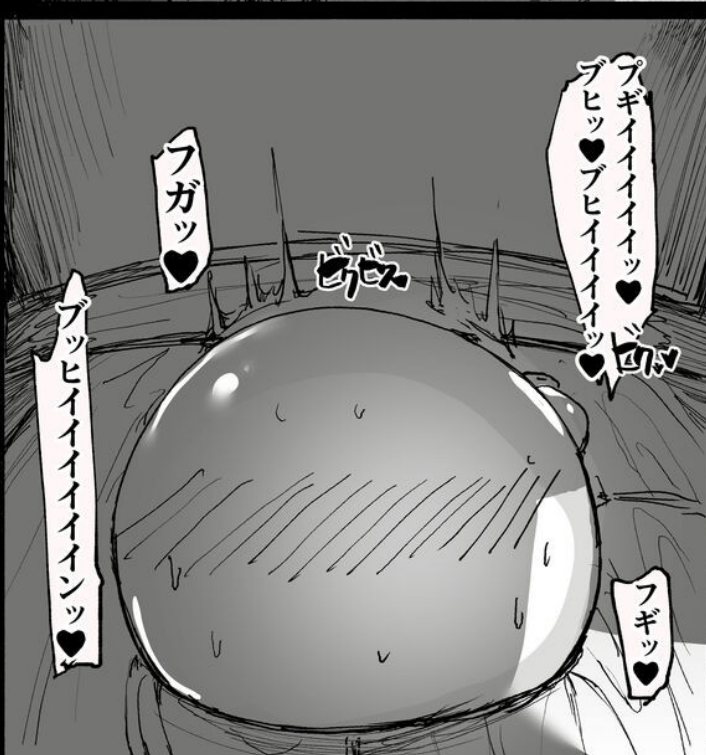
こいつは強情な女でのおゝ

しばらくは調教にも屈せず
偉そうな事を言っておったが…くく♥

あつ…あ…
そ…そんな…

妾をイラつとさせた罰として
雑くに尊厳破壊して
人間廃業させてやったわ♥

ほれ♥



プギイイイイイ♥
ブヒツ♥ブヒイイイ♥

フガツ♥

フギツ♥

ブッヒイイイイインツ♥



ああw♥

そういえば言葉も
没収したんじゃないの♥



もう豚の鳴き声しか発せんの、
可哀想な事をしてしまったわい♥

弟分の前でこんな痴態を晒すとはもう♥



ま、元々大した知能でもあるまい♥
売女は売女らしく汚物入れがお似合いじゃ♥

あ…あああ…
兄上…清姉…

—もちろ…♥







ふふ、吐き出しおったか♡

な、なにこれ…僕の体…♡
ぽ僕どうなってるの♡

身体が動かないっ…♡
指一本動かせないっ…♡



どうじゃ？
魂を排泄した気分…
いや、身体から
吐き出された気分は？

今のお前は妾のさし加減で
生かすも殺すも自由自在
お前の意思で決められる
ことは何もないのじゃ
例えば…



呼吸を止める事も
思いのままよ♡



あ…♡
あ…♡
全て支配されてる…♡

ついに妖狐様に…♡
お捧げできたんだっ♡
僕の全て…♡
尊厳も人権もっ…♡



ですっかり
忘れておったがな



ほれ、出てこい雌豚



…はいつ♡

失礼します…♡
主様…♡



今日はお前にとって
めでたい日でもあるからの
一人、客人を呼んであるのじゃ

きや、客人ですか？

誰だろう…



…えっ？♡

ビクッ

み、巫女様……♡

我が主神……♡
偉大なる妖狐様……♡

その者をもつてして
村の若者は全て
捧げ終わりました……♡

で、ですから……是非とも私に……♡
この罪深い雌豚に
至上の快楽をお赦し下さい……♡

うむ、よい
働きであった

村の若者を献上し尽くすまでは
絶頂封印の生殺し……♡
並の人間であれば廃人になる呪いであったが
1年半もの間よく耐えたぞ……♡

日課とした乳首オナニーもしっかりこなしたようじゃの
すっかり伸び切っておるではないか……♡

あぁっ♡

全ては我が主への奉仕……♡
巫女が神に仕えるのは当然の事……♡

愚かなる人の神より与えられた巫女の力、
真に仕えるべき神への奉仕のため
惜しむことなく使わせて頂きました……♡

で、ですから……♡
その……♡
はやく赦しを……♡

わかっておる
わかっておる

相変わらず浅ましい
女じゃの前は
餌をねだる豚
そのものではないか

ほれ半年ぶりの
アクメ解禁じゃ……♡
淫売らしく
欲望を貪るがいい♡

パチー





…あれから2年

妖狐様は僕と巫女様を使役し
大勢の人間を眷属化する事に成功した
魂を献上した人間は家畜や
道具として使い潰され
粗相をすれば罰として魂を汚物入れに閉じ込められる



ま、次に粗相をした時には
魂を引きずり出して
便所にでも捨ててしまうかの

乳首に重り…
股間に封印…

…よからう
色狂いの雌豚には
お似合いじゃな



お前、その身体を
無様な姿にしておけ
罪人だと目で
わかるようにな

まったく、禁欲を命じたにも関わらず
無断で乳首をコキおつてこの雌豚が
汚物入れの中で三日三晩反省するが良し

はい♡



う、うむ…



妖狐様、
今日の献上品です

そして、自分が家畜でなかった
事など忘れきったある日の事…

終わりは突然
やって来た…

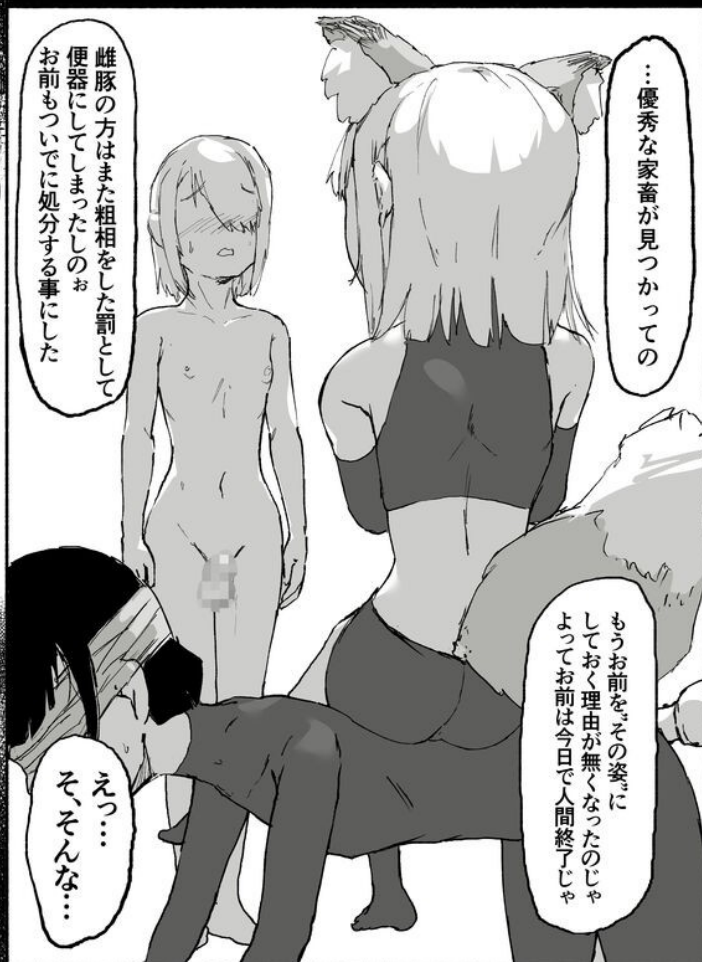
…いままで
ご苦労であったな



なに、悲しい顔をするでない…
たかが家畜とは言っても
お前の働きは中々の物…♡

もう…お仕えさせて頂けないのですか…？
確かに巫女様は愚かにも
粗相をしました私には…

崇拜心の深さはもちろんのこと
恋心を未だに拗らせ
ておる事くらい知っておる♡



…優秀な家畜が見つかったの

雌豚の方はまた粗相をした罰として
便器にしまったしのお
お前もついでに処分する事にした

もうお前を、その姿に
しておく理由が無くなったのじゃ
よってお前は今日で人間終了じゃ

えっ…
そ、そんな…



わかったわかった♡
その願い聞き届けてやろう♡

ぶっ…♡
お前は本当に変態じゃのお♡



だからせめてもの温情として、
好きな姿を希望させてやる♡

お前の望む在り方
を正直に吐いてみよ♡

好きな…姿…？



はいっ！♡
ありがとうございます！♡



…では！

僕は妖狐様の椅子になった♡

人間ではなくなったけど、
これであの柔尻を心ゆくまで堪能できる…♡

できれば…もう一度あの…♡
命を捧げる快感を…♡
尻での窒息射精を味わいたい…♡

それに許可さえ下されば…♡
生やして頂いたチンポから
射精する事だって…♡

できる…
はずだったのに……

ガラッ

ほら…♡

来るのじゃ…♡

ドキドキ♡

いくら立場が違えども一匹の
メスとして放っておけるわけなろう？♡

お前のチンポは極上じゃ…♡

こんなに質の
良いオス…♡





す...ヤバッ...♡

あんなに濃密だっ...♡
くそっ...♡

お前の優秀な精液...♡
もっと妻に注いでおくれ...♡



んあっ...♡
流石じゃ...♡

あ...あ...♡
あああああ...♡



なんで...♡
なんでアイツばかりっ♡



ひびっ♡

ザーメン上がってきたら
チンポが締め付けられて...♡

あっ...♡あっ...♡あっ...♡
僕も射精したいのにっ...♡



妖狐様がっ...♡
ちんぽをおしゃぶりっ...♡

ほ、僕なんか二度も
して貰えなかったのにっ...♡

くそっ...くそっ...♡
くそっ...くそっ...♡

おっ...おひっ...♡



遊びすぎたっ…♡
ここのちんぽ…デカマラっ…♡

妾を仕留めに来ておるっ…♡
雌の一番弱い部分に
自分の強さを叩き込んで…♡

ここのままでは
コヤツの女にっ…♡
モノにされてしまうっ…♡



ぶぎっ♡



あ…あ…♡
だめじゃ…♡



あ…あ…
し尻を叩くのはやめ…♡
ビクン

パンパン

んおあっ♡

お終わった♡

格付け♡
されてしまった♡
雌にされてしまった♡

ビクッ

フビッ

い、いぐっ♡
おまんこ、いぐっ♡

フビュ♡

ここのちんぽを
逆らえん♡

グッ♡

プッ♡

あ…あ…♡

ここのちんぽ♡
当然のような態度で
人の顔をちんぽレストに♡

オッテッ

レロロ

わ…妾が抵抗せんと思って
バカにしおって♡

こゝこれで良いか…？
ムチムチ巨乳とやらに
してみたのじゃが…
う、うむ…♡

ムチッ

お主が悦ぶのであれば
身体を改造する
くらい構わん…♡

う、うむ…もちろんじゃ
お主の命令通り
性感帯の感度も上げておる…♡

貧乳など抱いてもつまらん…
人間の女も抱かせろなど
贅沢なやつめ…♡
フー

もじもじ…♡

これなら妾の身体だけで
満足できるであろう…？
こんな下品な身体…♡
妾だって恥ずかしいのじゃぞ？♡

ふに♡

ピン♡

弱点を…♡
作ったのじゃ…♡
だからほれ…早く…♡

も、もうっ
お主は痴漢かっ？♡
尻ばかり揉みおって…♡

グニイ

え？
自分の女なんだから
好きに触らせろ…？

…正論じゃな♡



…も、もっ♡
もっとしてくれっ♡
もっとしてくれっ♡
尻尾をちぎるくらい♡

…っ♡
や、やめないでいい♡

そ、そうじゃ♡
妾はそれで悦ぶエロ雌じゃっ♡
お、お前がそうしたのではないかつ♡

んっ♡



じゃ、じゃからあ♡
わ、妾の尻を叩くのはやめよ♡

それっ♡

弱いのじゃっ♡
…あ、あ♡

んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡



み、認めるっ♡お主を…いやっ♡
旦那様を主人として認めますのじゃっ♡

だ、だから妾を目那様の女として…
これからもっ♡



ふにゃんっ♡

そ、そうじゃ♡
妾の負けじゃっ♡
お主のちんぽの勝ちじゃっ♡

寵愛下さる...

にっ

にっ

にっ

にっ

にっ

にっ

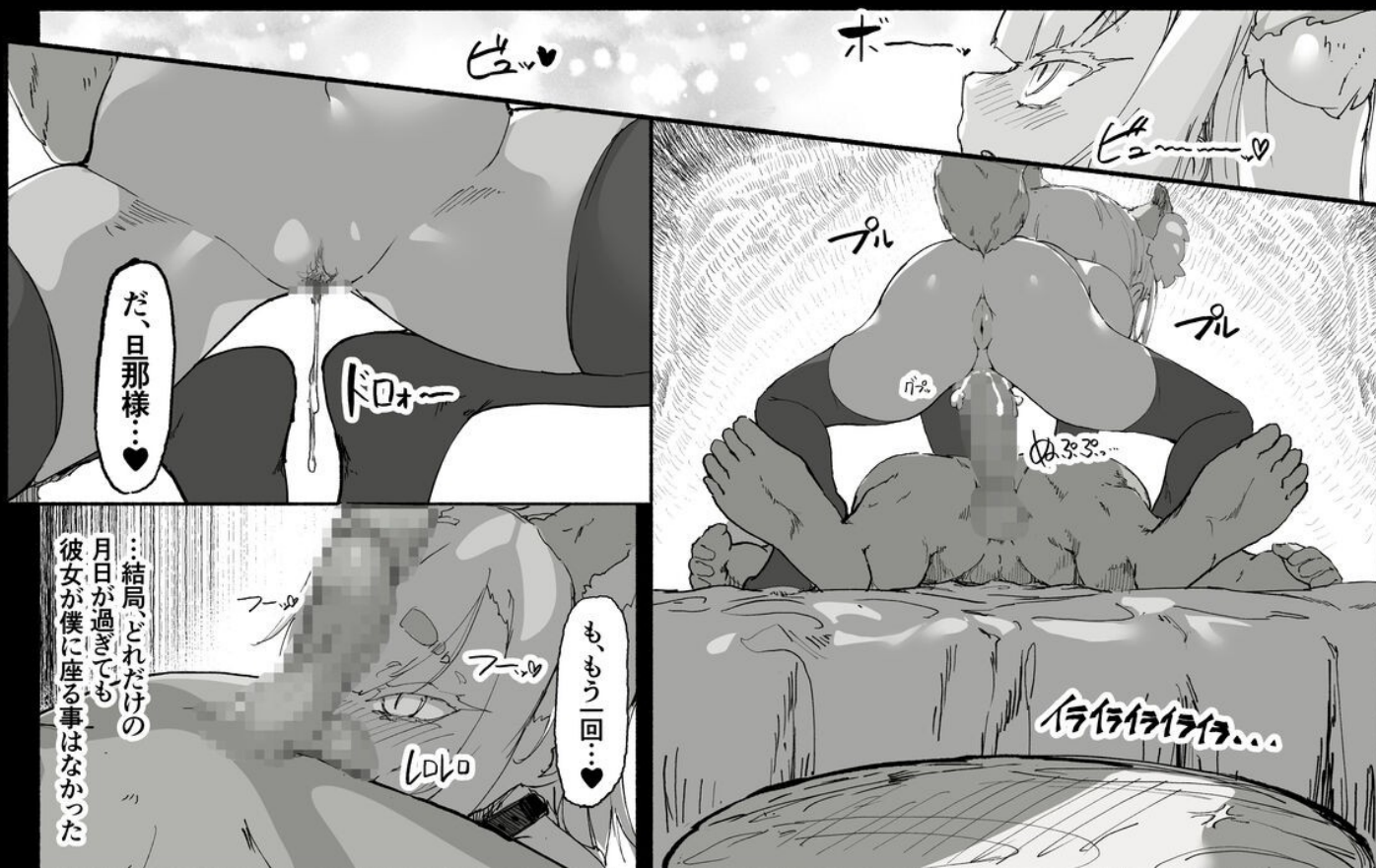
にっ

にっ

にっ

にっ

にっ



——契約をした魂は
快樂地獄に墮ち
永遠に悶え媚び続ける

…今更になって自分がどんな
契約をしたのか思い出したが
全て手遅れだった。

言葉を発する事も
目をそらす事もできない…

權利を全て献上してしまったので
射精の自由などあるはずもない…

僕にできるのは込み上げ続ける欲求を吐き出す事もできず
嫉妬で破裂しそうなチンポを締め付けられながら
甘美な地獄の中で悶え続ける事だけだ…♡

自分の全てを捧げた相手が
別の男に染められるのを間近で見させながら…♡



■ご購入ありがとうございます♡

発行日/2023.2

作品名/ショタ陰陽師が性悪ロリ妖狐のガキ恋奴隷になり全てを失う話

著者/うらあか18

Pixiv/17247289

Twitter@uraaka_illust

